2105　田村遺跡第２９次調査（ＴＭＲ－２９）

所 在 地　　早良区田村２丁目８０４番１

調査原因　　宅地造成

調査期間　　2021.4.12～2021.5.10

調査面積　　136.5㎡

担 当 者　　赤坂　亨

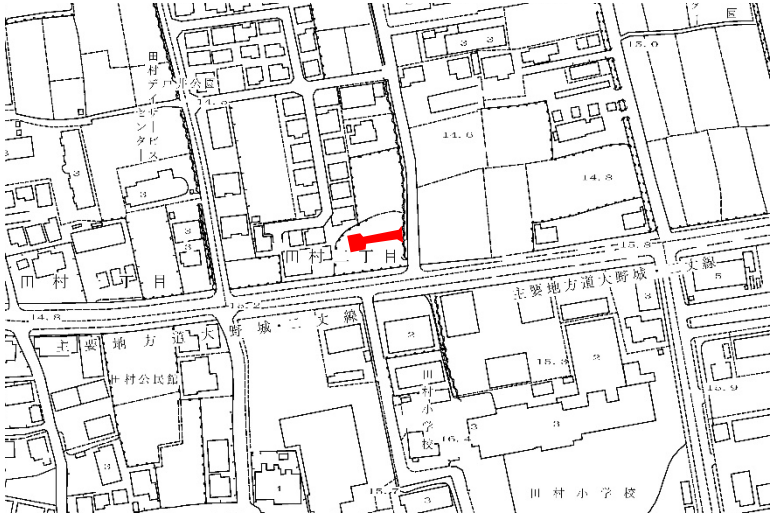
処　　置　　記録保存

調査の概要

田村遺跡は早良平野中央部の標高13～17m前後の沖積微高地上に立地する。29次調査は中世の条里地割の痕跡が良好に遺存する遺跡北西部に位置する。

遺構は溝・土坑・柱穴を検出した。調査区東側に遺構が集中し、西側は河川からの砂礫が流れ込んだ自然の落ち込みを検出したが、人為的な遺構はほとんど存在しなかった。遺物は土師器皿・白磁・青磁が遺構から、黒曜石剥片・弥生土器甕が遺構外から出土した。遺構出土遺物の時期は12世紀頃である。遺物総量はコンテナケース１箱分である。

中世における田村遺跡の条里区画内部での、当時の土地利用状況の一端が判明した。



１．調査地点の位置（93 都地 0317 S=1/4,000）

２．調査区全景（東から）